私は１９９８年に神奈川県で国体開催時に結成された「かながわスポーツボランティア」に登録し、２００２ＦＩＦＡワールドカップをはじめ、スポーツ関係のボランティア活動をしていました。２００３年にスポーツボランティアバンクからの依頼で神奈川県ハング・パラグライディング連盟主催「パラグライダー無料体験会」にサポートスタッフとして参加し､回数を重ねるごとにパラグライダーに興味を持ち練習生になりました｡その後、パラグライダーを通して、フライトの面白さはもちろんのこと、自然の美しさと雄大さや脅威を知り、季節の移り変わりを感じながらエリアで仲間と一緒に過ごす楽しさ、多くの人との出会い、様々な出来事の経験をしました。そのような中で、未熟な技術のフライヤーでありながら神奈川県連理事として普及活動等に従事し、ＪＨＦを頂点に、県連、個人と繋がる組織こそ、パラグライダーエリア・フライヤー、社会における安全・安心を保障する絶対的な機関であり続けるべきであると感じてきました。ハング・パラの日本最高機関のＪＨＦは、フライヤーの信頼を受けながら、行政や一般社会に対する窓口となり、フライヤー、エリア・地域社会の安全確保を第一に考える組織であるべきだと考えます、その為のルール設定やマニュアル製作、機材検査をはじめフライトに関連する多方面に渡る安全管理・研究、教育指導や人材育成、他団体との連絡を徹底して行い、フリーフライト、競技大会による個人の目標や目的達成するための環境作り、国体などの公的事業参加による社会貢献を継続してきたものと思います。このような実績、歴史や伝統を受け継ぎながら、諸先輩方と共に新しい世代も参加し、個々のフライヤーが集合し、自らの為に作り上げる団体であるべきであると考えます。私も、すべてのフライヤーが安全に楽しくフライトし続けるため、お役に立てるお手伝いをさせて頂きたいと思います。